

サイネージを効果的に配置した建築デザインは「ステージ」が担当した。



8月1日にグランドオープンした「スーパーD'ステーション東金店」(総台数960台/パチンコ492台、パチスロ468台)がある東金市は、千葉県中東部に位置する。同店は九十九里浜まで車で約10分、大型スーパーなどが立ち並ぶエリアに立地している。

同店はM&Aで取得した店舗を全面改装したもの。こだわったのはファンにとっての「利便性と居心地の良さ」と、「今までにナイ」新しいD'ステーションを伝えるためのインパクトだ。

従来のD'ステーションとは一線を画す広さを確保した中央通路は、大型サイネージとの相乗効果により、広々とした印象と非日常感をお客様に与えている。

設置台数約1000台の大型店ながら、入店時のインパクトと高揚感を与えつつ、利便性を重視し、賞品カウンターには新型セルフPOSを3台設置した。インフォメーションスタッフが近くに控えているため、女性や年配客も戸惑うことなく使いこなしている。

グランドオープンから約3週間(取材時点)が経過した現在も、袖ヶ浦や成田ナンバーなどの車があり遠方からも集客しているようだ。

「広範囲からの集客も必要ですが、信頼される営業を続け、まずは地元のお客様に支持される店にしたい」と語るのは鈴木智久店長。パチスロには人気の最新機種をエリア最多規模で導入する一方、年配客に人気のAタイプは品質管理を徹底。パチンコの低貸しコーナーでも同様に、安心して遊べる環境を提供している。

「当社が30周年を迎えて初めてのグランドオープン店舗であり、制服や身だしなみ規定の刷新によって、スタッフに自覚ある営業姿勢が求められる点が特徴です。また、これまでの常識であったスタッフの実名

HALL REPORT

スーパーD'ステーション東金店 (千葉県東金市)

創業30周年 新生D'ステーション1号店

お客様満足度向上への取り組みで地域No.1店舗へ

7月7日に創業30周年を迎え、星野万里氏が新社長に就任。新たなスタートを切って初のグランドオープンを迎えたのが『スーパーD'ステーション東金店』。【今までにナイ】新しいD'ステーションをテーマに、同店から新デザインの制服が導入され、スタッフの身だしなみ規定も個性を尊重する基準に変更された。



A/全セルフPOS化で省人化にしながらも、丁寧な案内がされている B/迫力あるダイコク電機の最新データランプを導入 C/今までにない新ユニフォームを起用し、プライバシー保護の観点から名札表記もSTAFFとしている D/自動掃除ロボットをキャラクターラッピングし告知として運用 E/黒を基調としたシックなデザインの中に、壁面の店舗ロゴがアクセントになっている



「お客様の信頼を得られる営業を続け、会社に貢献できる店舗に育てたい」(鈴木店長)

「どんな商業につくり上げています。当店も本当のスタートアップの交流の歴史となりまをお客様の声を磨き続ける、と思っただ信じています」

続きはデジタルブックでご覧いただけます。

詳細はこちら▶

公表を廃止し、STAFF表記に統一。さらに設備面では、大型サイネージやセルフPOSなどを系列店に先駆けて導入し、利便性の高い設備を備えた「新しいD'ステーション」をアピールしたいと鈴木店長は語る。スタッフ間の呼称も役職にかかわらず「さん」で統一。新規則は「働きやすくなった」と好評で、身だしなみに自信を持てるようになったほか、上司に対しても「さん付け」で話すことでコミュニケーションが円滑になり、バックヤードの風通しも良好だという。

